



◇ インドネシア国「気候変動対策能力強化プロジェクト」業務について

振興部では、JICA（国際協力機構）が実施する、インドネシア国「気候変動対策能力強化プロジェクト」を受託しており、その一環として、インドネシア気象局（BMKG）ほか職員の日本における研修（本邦研修）について、研修員の受け入れ事務局を担当しております。

この業務は、気候変動がもたらすインドネシアの気象への影響を評価し、それらに対応するための能力向上を目的としており、本年は、筑波大学のご協力を頂き、気候モデルのダウンスケーリング（インドネシアを対象とし気象・気候モデルを用いて細かな空間スケール<5km または 20km >で将来の気候変動を評価する）の研修を行うとともに、独立行政法人農業環境技術研究所のご協力を頂き、気候変動がインドネシアの将来の食糧生産量に与える影響評価の研修を実施しています。

研修では、筑波・東京エリアだけでなく、北海道大学や京都大学などの研究施設の見学や気候変動に係る研究成果の学習も実施しており、これらを通して、多くの研究機関の研究成果を研修するとともに、日本の研究機関・研究者と人的なネットワークを作ることで、継続的な研究協力を行えることも目標として、進められています。

9月下旬に開始した本邦研修には、5名の研修員が参加しており、11月からは、気候変動を考慮した土地利用計画の検討を行う、公共事業省、バンドン工科大学の研修生3名も加わり、12月まで実施される予定です。

（振興部）



←独立行政法人森林総合研究所
北海道支所の観測タワー見学

↓農研機構 北海道農業研究センター
の露場にて

